

# 滝川グループ 2008 年度環境報告書

滝川工業株式会社  
株式会社 滝川製作所  
滝川メンテナンス株式会社  
株式会社 神川鉄工所

滝川グループでは、1998年11月にISO14001「環境マネジメントシステム」の認証取得をして以来、下記に示します「社長の経営理念」に基づいて、全従業員とともに地球の環境保全に取り組んできました。

そして、1999年における環境保全活動の実績を第1回目の報告書としてまとめ、みなさま方に公開して参りました。

今回は10回目として、滝川グループの各事業所および各サイトにおける2008年度(1~12月)の活動の実績を基に作成いたしました。

ここでは、各サイトの環境保全への基本姿勢と2008年度における成果、そして、特に重点的に取り組んできたテーマを選び報告書としてまとめております。

## 経営理念

当社は、当社が製造する一般産業機械、製造装置および関連設備、食品加工設備および機械部品の加工・組立、ならびにお客様の施設の保守・点検作業などに対し、次のことを確実にするためにISO14001に基づく「環境マネジメントシステム(EMS)」を確立し、維持する。

子孫に美しい地球を残すために、エネルギー・資源消費の削減とリサイクル、廃棄物の減量化ならびに環境汚染の防止、製品の品質改善の実行を通して、地域・地球環境の保全を目指す。

滝川グループ代表 滝川勝吾

## 1. 環境基本方針

滝川グループでは、創業以来培ってきた企業活動と環境との係わり合いを明確にするために、2002年7月に次の統合基本方針を制定しました。環境関連のみ抜粋したものです。

### 基本目標

滝川グループは、各システムに対応する基本目標として下記を定め、全従業員に知らしめると共に、従業員全員により実行し、維持する。

地球環境保全が人類共通の重要課題であることを認識すると共に、企業活動のあらゆる面でEMSの有効性の継続的改善、ならびに各事業所において周辺地域との協調・共生を図るために次の行動を起こす。

- 1) 基本方針ならびに年度目標に基づき、技術的、経済的に可能な範囲で各部門において年度目標を設定し、その進捗度および達成度について定期的（年央および年度末）にレビューする
- 2) 全従業員に下記項目の実施義務の自覚を促すことを確実にするために、従業員の教育・訓練をはじめとする啓発活動を行い、周知徹底を図る  
EMSの理解、環境に対する意識及び資質の向上、ならびに汚染の予防
- 3) 全従業員は、本マニュアルに定める品質、環境、ならびに労働安全衛生に関するマネジメントシステムを理解し、この規定事項に例外なく従う
- 4) 環境に関する法令・規制要求事項、ならびに当社が同意する要求事項を遵守するとともに、本マニュアルならびに各規定に基づきマネジメントの強化・向上に努める
- 5) 私は、業務部長を環境管理責任者として任命し、システム遂行に関する責任と権限を委譲する（権限の詳細は本マニュアル中に規定する）
- 6) マネジメントシステムの適切性を持続するために基本方針をレビューし、毎年1回見直すと共に、外部からの要請があればこれを開示する

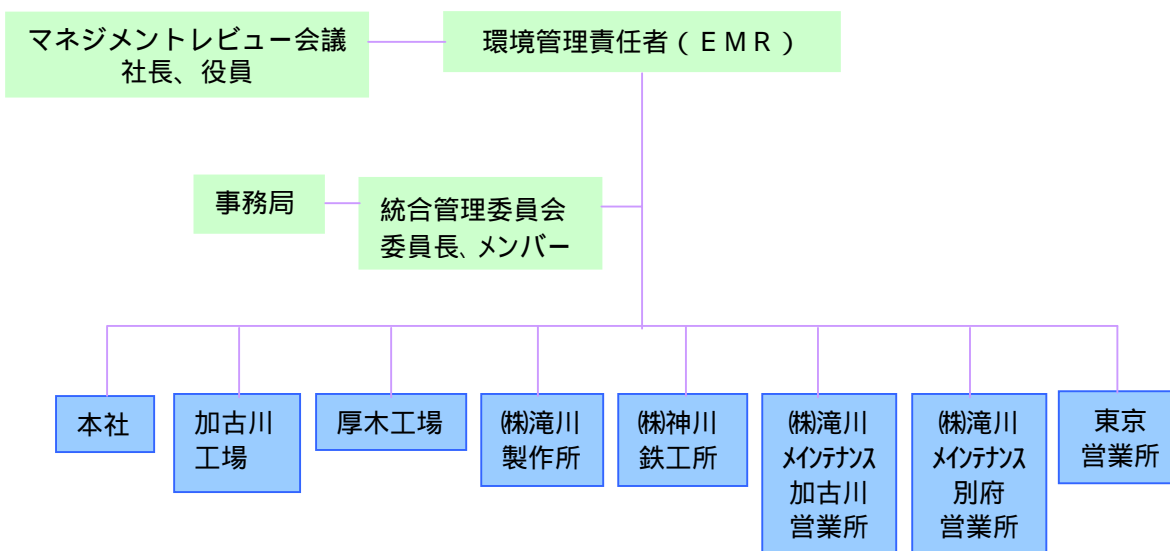
2006年1月31日

滝川グループ代表 滝川工業株式会社 取締役社長  
滝川 勝吾

## 2. 環境マネジメントシステム

### 環境管理組織

当社グループでは、環境対策を企業経営の最重要課題の一つとして位置付け、全社活動として実効の上がるものとするため、環境管理推進組織を構成し環境活動を推進しています。



## ISO14001規格への適応

滝川グループでは環境汚染の未然防止および継続的な環境改善を推進するため、国際規格 ISO14001「環境マネジメントシステム」の構築・運用に取り組み、1998年11月にその認証を取得、2001年9月には、認証機関デット・ノルスケ・ベリタス社の品質 (ISO9001)・環境統合認証、2005年9月には、OHSAS18001 も含む 3 規格統合および ISO14001 の 2004 年度版切替審査、また、2007年7月には、品質・環境・労働安全衛生の統合更新審査により、オランダの認証機関 R v A の統合認証を取得しました。

### 認証証書記載内容より抜粋

- 1) 認証番号 ; 4101-1998-AE-K0B-R v A
- 2) 認証事業所 ; 滝川工業(株)本社・東京営業所・加古川工場・厚木工場(株)・(株)滝川製作所  
滝川メンテナンス(株)加古川営業所 / 別府営業所・(株)神川鉄工所
- 3) 適合規格 ; BS EN ISO14001 : 2004 = ISO14001 : 2004 = JIS Q 14001 : 2004
- 4) 認証範囲 ; 結束機、鉄鋼精整設備、電子部品搬送装置及び連続食品調理装置 (蒸し機・オープン) ならびに産業機械の設計、開発、製造、据付及びサービス。  
製缶作業、機械部品の機械加工および組立、製造装置のサイト内における保守・点検および修理工事
- 5) 有効期間 ; 2010年09月18日

## 3. 環境に対する取組み 統合スローガンおよび目標

統合スローガン・目標をより具体的にするため、各部門においては、これに合わせて実施する具体的な目標内容を設定し、その達成に向けて様々な活動に取り組んでいます。

### 2009年度統合スローガン 「地道に、愚直に、ひたむきに」

ISO9001 認証取得以来 13 年、今一度、原点に戻り、  
「地道に、愚直に、ひたむきに」「手抜き」  
をしない活動を開始したい。

### 2009年度環境目標

1. 各サイトにおいて、美化パトロールを実施し、6Sを推進する。
2. 地球環境保護の観点より、省エネ・省資源を図る。

## 2008年度各部門目標実績

部門名	設定項目	結果
総務部	環境パトロール実施、リサイクル率向上	目標達成
	リスク追加登録、法令順守	目標達成
営業部	本社内の美化パトロール	目標達成
東京営業所	所内の美化パトロール (不用品、書類の整理)	目標達成
	省エネ活動の継続実施	継続実施中
業務部	業務部担当エリアの美化推進	目標達成

部門名	設定項目	結果
技術部	用紙使用量の削減	継続実施中
	環境関連資格者の養成(電気主任技術者)	継続対応中
	部内美化の推進	目標達成
	省エネ考慮の当社製品の改善	目標達成(7件)
品質管理部	環境法令順守活動・監視	目標達成
製造部第1工場	床砂処理量の削減	継続実施中
	工場内5Sの推進	目標達成
製造部機械工場	廃含水油処理量ゼロ、切削油削減	廃含水油ゼロ
	環境パトロールの実施	目標達成
製造部組立工場	塗料用具消耗品の新規購入費用の削減	昨年度並み
	工場内5Sの推進	目標達成
厚木工場	工場内5Sの推進	目標達成
	省エネ活動の継続実施	07年度より自動運転率・稼働率向上
新島工場	省エネ・省資源活動	目標達成
	工場内5Sの推進	目標達成
滝川メンテナンス加古川	環境パトの実施(安全と併用)による3S推進	目標達成
滝川メンテナンス別府	環境パトの実施(安全と併用)による5S推進	目標達成
神川鉄工所	切削液の削減(原液使用量;100L以下)	24%、廃棄量ゼロ
	クレーン走行時の騒音減少、操作性の向上	-5dB以上 目標達成

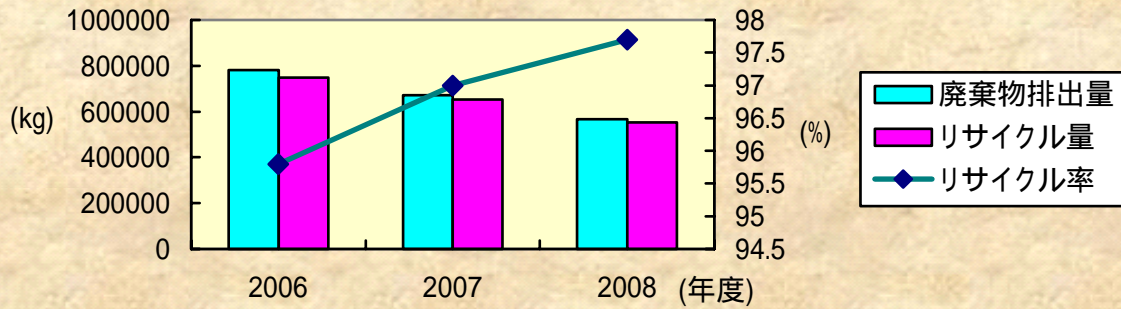
## 環境パフォーマンス実績

### 廃棄物排出実績およびリサイクル率

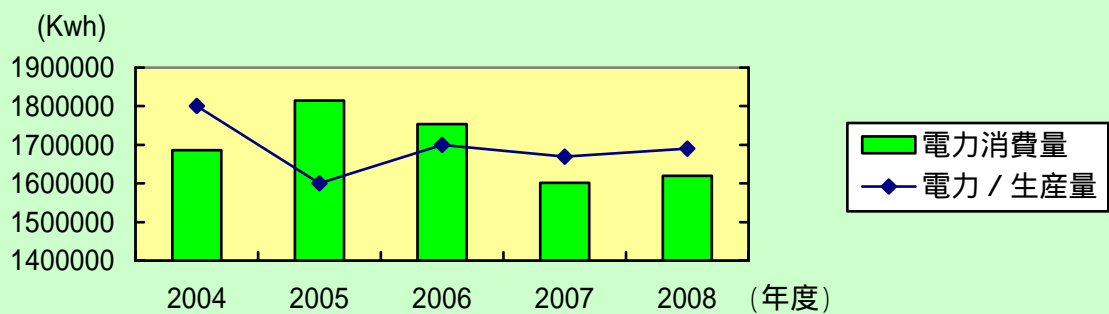
\*上段：2008年度 下段：2007年度

サイト (kg)	加古川 工場	本社	厚木 工場	滝川 製作所	神川 鉄工所	滝川メイン テナンス・ 加	滝川メイン テナンス・別	東京 営業所	滝川グループ 合計
年間排出量 (総重量 kg/年)	565,444	2,395	27,033	40,274	156,422	190,211	208	395	982,382
	672,301	2,287	34,982	42,036	234,303	142,596	158	368	1,129,031
無効廃棄量	12,918	3	0	22	69	158	5	0.1	13,175
	20,380	1	0	85	295	131	0	0.1	20,892
サーマル リサイクル	12,480	12	2,263	3,716	1,342	290	130	4	20,237
	13,911	15	4,403	1,190	1,689	310	25	7.5	21,550
マテリアル リサイクル	540,046	2,380	24,770	36,536	155,011	189,763	73	391	948,970
	638,010	2,271	30,579	40,761	232,319	142,155	107	361	1,086,589
リサイクル率 (%)	97.7	99.9	100	100	100	99.9	97.6	100	98.7
	97.0	100	100	99.8	99.9	99.9	100	100	98.1

### 廃棄物排出量とリサイクル量(加古川工場)



### 電力消費量と生産量に対する電力消費量の変化(滝川工業)



## 教育・訓練の推進

- a. 環境マネジメント教育； 役員対象、管理職対象、従業員対象
  - ・環境管理システム要求事項ならびに実施事項のポイント
  - ・現状およびなぜ環境保全が必要か
  - ・当社の環境管理レベルの変化について
  - ・全社方針と指針、ならびに各部目標と個人目標
  
- b. 内部環境監査員教育； 1泊2日間(合宿形式 錦水倶楽部にて)
  - ・CEAR(産業環境管理協会)の教育規定に基づいた1泊2日の合宿形式の教育プログラムを構築し、当社の品質管理部による社内向けおよび社外向けの教育を実施しています。
  - ・現在、外部企業の方を含めて241名が終了され、そのうち当社グループ全体で、78名が認定されています。
  
- c. 環境マネジメントシステム審査員
  - ・外部教育機関にて4泊5日のフォーマルコース研修を受けた要員が、上記1名のほかに3名おり適宜、社内の環境マネジメントシステムの維持向上に、あるいは従業員の環境知識の向上に努力しています。
  
- d. 緊急事態への対応教育
  - ・各サイトおよび各部門にて必要な緊急事態を特定し、関係する従業員を対象にして定期的実施訓練をしています。
  - ・また、全サイトの従業員を対象として火災時の避難訓練も定期的実施しています。

以上